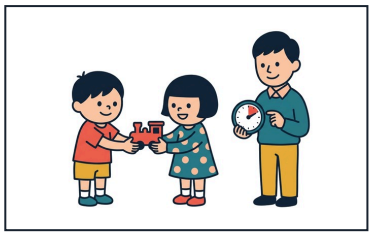
CASE 09｜お友だちとの貸し借り・順番・ルール

おもちゃを貸してと言えず奪う 順番やゲームのルールが守れない

大人と1対1の信頼づくりから「並行遊び → 小集団SST」の3段階で無理なく社会性を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- お友だちが遊んでいるおもちゃを無言で取り上げてしまいトラブルになる
- 自分の使っているおもちゃを「貸して」と言われると怒って突き飛ばす
- 滑り台やゲームの順番が待てず、割り込んだり勝敗で泣いてしまう

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
意地悪ではなく「いつ自分の番が来るか見えない不安」が原因です

幼児期は「今すぐ遊びたい！」衝動を抑える力と他者視点が発達途上です。「貸したら返ってこないかも」という不安をタイマー等で解消し、大人が言葉を仲介するとやり取りが育ちます。

お友だちとの関わり場面に応じた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:お友だちの玩具が欲しくて奪ってしまう時
スタッフがすぐ横に入り、『かしてって言ってみようか』『タイマーが鳴ったら交代ね』と具体的な言葉のモデルと終わりの見通しを仲介します。

■ B:自分の玩具を貸すのが嫌で怒ったり泣く時
無理に奪って貸させるのではなく、『あと3分遊んだらどうぞしようね』と本人の満足感も守り、貸せた瞬間に大きく褒めて自信を育てます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



順番不安とやり取り未熟
どう言えばいいか分からず、奪われる不安から防衛的になっています。

02 並行遊び



大人と1対1＆隣で遊ぶ
スタッフとの信頼を築き、お友だちの隣で安心して遊ぶ経験を積みます。

03 仲介練習



タイマーでかして交換
交代の時間をタイマーで視覚化し、「かして」「いいよ」の交換を練習します。

04 育つ姿



小集団ルール遊びSST
順番待ちや「ごめんね・いいよ」が自然にでき、笑顔で一緒に遊べます。



実践① ボーリング・魚釣り等の小集団SST
少人数で「順番待ち・応援」を体験
2～4人の小集団で順番交代ゲームやおやつ時間を過ごし、「待てば必ず自分の番が来る！」安心感とルールを守る楽しさを体験します。



実践② 専用中庭での遊具交代・関わり支援
指導員が仲介し「かして・いいよ」へ
遊具や玩具の貸し借り場面でスタッフが丁寧に言葉を添え、お友だちに「どうぞ」ができた喜びを積み重ねて園生活の自信へつなげます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

きょうだいやお友だちとの玩具の交代は「もう貸してあげなさい！」ではなく、『タイマーが鳴ったら交代ね』と時計を審判役にすると子ども同士が納得しやすくなります。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談